Ⅲ．重要な債務負担行為

（単位：千円）

契約内容	契約相手先	翌年度以降支出予定額		
		一年内	一年超	合計
外国雑誌購入契約	㈱紀伊國屋書店　他２社	5,889	—	5,889

Ⅳ．金融商品関係

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については、定期預金及び有価証券（譲渡性預金）に限定しております。

資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人法第47条の規定に基づき行っており、株式等は保有しておりません。また、未収金は、債権管理事務取扱要項に沿ってリスク管理を行っております。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
⑴　現金及び預金	220,559	220,559	—
⑵　未収金	92,871	92,871	—
⑶　有価証券	600,000	600,000	0
⑷　未払金	(521,928)	(521,928)	(—)
⑸　リース債務	(77,252)	(77,252)	(0)

注）１．負債に計上されているものは、（　）で示しております。

２．金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

⑴　現金及び預金、⑵　未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑶　有価証券

有価証券の時価については、取引金融機関から提示された価格によっております。

⑷　未払金

未払金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑸　リース債務

リース債務の時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入又は、リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しております。

Ⅴ．賃貸等不動産関係

当法人は、徳島県鳴門市において、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	4,005,403	77,587	130	4,082,860	1,421,550	170,236	—	—	—	2,661,309	
	構築物	701,290	—	1,380	699,910	451,612	26,750	—	—	—	248,298	
	機械装置	20,091	—	—	20,091	1,477	1,181	—	—	—	18,614	
	工具器具備品	161,093	—	—	161,093	71,511	27,299	—	—	—	89,582	
	船舶	380	—	—	380	379	—	—	—	—	0	
	計	4,888,259	77,587	1,510	4,964,335	1,946,531	225,468	—	—	—	3,017,804	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	163,235	8,177	—	171,413	28,589	9,600	—	—	—	142,823	
	構築物	35,362	20,410	—	55,773	8,244	3,599	—	—	—	47,529	
	機械装置	11,269	—	—	11,269	8,196	927	—	—	—	3,073	
	工具器具備品	749,745	73,285	16,363	806,667	381,583	117,148	—	—	—	425,084	
	図書	1,209,516	11,787	390	1,220,912	—	—	—	—	—	1,220,912	
	車両運搬具	13,165	—	—	13,165	13,165	250	—	—	—	0	
	計	2,182,295	113,661	16,754	2,279,202	439,779	131,526	—	—	—	1,839,422	